

学校保健委員会だより



令和6年7月16日(火)

三井楽小・中学校保健委員会事務局

三井楽小・中学校保健委員会は、地域ぐるみで子どもを育てていこうという目的のもと、令和元年度から小中合同で開催しています。今年度の第1回目は、7月8日(月)に開催しました。保護者10名、教職員9名の計19名が参加しました。

三井楽小・中学校の児童生徒が抱える保健・体育・食育の3つの分野についての課題を共有し、解決に向けての取組について協議を行いました。質疑応答では、家庭での児童生徒の朝食の状況等について情報交換もでき、大変有意義な会となりました。

【令和6年度の活動テーマ】

三井楽っ子のこころとからだを育む学校保健

「基本的な生活習慣の定着」を重点的に取り組む。



保健(定期健康診断の結果)

体位測定: 小学校・中学校ともに特に大きな問題はなかったが、肥満傾向の児童生徒が数名みられた。

視力検査: 1.0未満が小学校62%(県平均32.8%)、中学校60.6%(県平均59%)だった。学年が上がるにつれて、視力低下が進んでいる。また、メガネやコンタクトレンズを使用しているが、調整が必要と思われる児童生徒もみられた。1.0未満の児童生徒には眼科受診を勧めている。

歯の検査: 小学校・中学校ともに、むし歯なしの割合が増加しており、家庭での歯の健康に対する意識が高まっていると思われる。一方で、歯肉に問題のある児童生徒が増えてきている。今後も歯科受診勧奨、家庭でのブラッシングの取り組み、学校でのブラッシング指導を継続していく。

※視力低下や虫歯など健康診断で見つかった疾病について、早めの受診をおすすめします!



体育

小学校:「走力」「体の柔軟性」が課題

「取組期間を設定した縄跳びカード、マラソンカードの実施」「大縄跳び大会の実施」

「遊具遊び」などに取り組んでいく。ご家庭でのお風呂上がりのストレッチをお願いしたい。

中学校:「柔軟性」「敏捷性」「走力」が課題

体力テストの結果では、個人差はあるが女子の方が高い。運動が好きな生徒が多いが部活動の加入者が年々減っていている現状である。個に応じた取り組みに対する助言を行っていく。



食育

R5年度の残食について、五島市の食育計画目標値を小学校は達成できなかった。中学校は達成できた。今年度は小学校の残量が昨年度の2.8倍になっているが、6月に入って減ってきている。中学校では、1年生の残量が多い。しかし、徐々に食べられるようになってきている。

また、小・中学校ともに、栄養教諭による給食時の食育指導、家庭科や学級活動等その他教科においても食に関する授業を行っている。今年度も継続していく。

